

2009年3月17日

## HSBC グループ、2009年第1四半期 ファンドマネジャー調査結果：中国株に強気

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融・銀行グループであるHSBCは、運用資産額で世界の大手資産運用会社12社<sup>注1)</sup>を対象にアセット・アロケーションの方向性とグローバルなマネーフローを分析した、2009年第1四半期のファンドマネジャー調査の結果を発表しました。

今回の調査結果からは、市場のボラティリティの高さや景気の先行き不透明感にも関わらず、世界の大手資産運用会社のファンドマネジャーは中国株に対して強気であることが明らかになりました。主な結果は次の通りです。

### アセット・アロケーションの方向性

2009年第1四半期は世界経済全域で先行き不透明感があることからファンドマネジャーは総じて株式よりも債券を選好している様子が明らかとなりました。HSBCグループ香港上海銀行個人金融サービス本部本部長兼マネージングダイレクターのフランソワ・モローは、「市場環境が現在ほど悪化しておらず、株式に対して今より強気だった2008年第4四半期と比較し、市場のボラティリティの高さと世界的な景気の先行き不安から、ファンドマネジャーはより安全な資産に切り替える傾向があり、引き続き中心テーマは質への逃避となっています。我々は、このような状況が中期的に続くと考えています。」とコメントしています。

地域別株式に関しては、中国政府の景気刺激策が国内需要と経済成長を下支えするとの見方から、中国株に強気であるという結果となりました。中国株をオーバーウェイトとしたファンドマネジャーは67%と、2008年第4四半期の50%から増加しました。中国株をアンダーウェイトとしたのは2008年度第4四半期は38%でしたが、2009年第1四半期は0%でした。ニュートラルは2008年第1四半期が13%、2009年第1四半期には33%へと伸びました。

また日本株に関しては、オーバーウェイトが11%、ニュートラルが56%、アンダーウェイトが33%と、前期から全く変わりませんでした。

次頁に続く

資産クラス別

	アンダーウェイト		ニュートラル		オーバーウェイト	
	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08
債券	0%	20%	43%	30%	57%	50%
現預金	17%	13%	50%	63%	33%	25%
株式	22%	30%	44%	20%	33%	50%

地域別（株式）

	アンダーウェイト		ニュートラル		オーバーウェイト	
	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08
米国	33%	50%	33%	20%	33%	30%
欧州（英国を含む）	22%	50%	56%	30%	22%	20%
日本	33%	33%	56%	56%	11%	11%
アジア太平洋※	22%	22%	33%	22%	44%	56%
中国	0%	38%	33%	13%	67%	50%
エマージング・マーケット	38%	33%	25%	11%	38%	56%

※日本を除くアジア太平洋地域

地域別（債券）

	アンダーウェイト		ニュートラル		オーバーウェイト	
	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08	1Q09	4Q08
米国	43%	56%	29%	33%	29%	11%
欧州	0%	11%	50%	33%	50%	56%
ハイイールド/グローバル・エマージング・マーケット	33%	33%	33%	11%	33%	56%

グローバルなマネーフローの分析

今回の調査では、2006年第3四半期に本調査を開始して以来、初めて、過去10四半期をカバーする米ドル建マネーフローの累計額を示す「HSBC ファンドフロー・トラッカー」を導入しました。推定ネット・マネーフロー<sup>注2)</sup>は、運用資産額に対する各資産の指数の動きから導いたものです（調査結果の添付資料を参照）。

次頁に続く

### HSBC、ファンドマネジャー調査を実施/3

2008年第4四半期末現在、調査対象運用会社12社の運用資産額の合計額は約3.27兆米ドルで、世界全体の推定運用資産額合計額<sup>注3)</sup>の約17%に相当します。2008年第4四半期末での調査対象運用会社12社の運用資産額は、2008年第3四半期比で8.26%、2,949億米ドル減少したことを示しています。株式ファンドの減少額、約2,520億米ドルが運用資産額全体の減少の主要な原因です。その一方で、同時期にMMFは832億米ドル増加、債券ファンドも45億米ドル増加しました。

下記の表は、各資産別に2008年第4四半期中の運用資産増加額から各市場の成長分を差し引いたネットフローです。

#### セクター別、運用資産額のネットフロー (%)

資産タイプ	2008年第4四半期末	2008年第3四半期末
米国株式	+2.7%	+3.6%
日本株式	-3.0%	-3.5%
アジア太平洋株式※	-1.0%	-5.5%
中国株式	-4.4%	-4.6%
エマージング株式	-9.2%	-11.1%
米国債券	+2.9%	+9.4%
欧州（英国を含む）債券	+8.7%	-5.4%
ハイイールド/エマージング債券	-11.9%	-6.3%

※日本を除くアジア太平洋地域

株式ファンドについては、ファンドの運用資産額の推移と市場パフォーマンスを追跡し、2006年第3四半期から2007年第4四半期にかけてはネットでの資金流入、2008年第1四半期以降はネットでの資金流出になっています。債券ファンドの推移では、特に米ドル建て投資適格社債や英国を含む欧州債券への質への逃避を示しており、投資家が投資を分散させていることを示しています。中国株への資金の流入が安定しており引き続き投資家の関心が強いことを示しています。

次頁に続く

## HSBC、ファンドマネジャー調査を実施/4

先進国の景気後退がエマージング株式のリスク要因になるとの懸念からグローバル・エマージング株式ファンドからは過去最大の資金流出がありました。同様に、新興国経済が金融危機の影響を大きく受けたために、エマージング債券も過去最大の流出となりました。その一方で欧州債券は、欧州中央銀行、イングランド銀行の金融緩和策もあり、前四半期は過去最大の資金流入がありました。米国債券・株式市場に関しても米国政府の景気回復刺激策を受けて資金が流入しました。

### 注記:

1: 調査協力資産運用会社 12 社は以下のとおりです。

アライアンス・バーンスタイン、アリアンツ・グローバル・インベスターズ、ベアリング・アセット・マネジメント、ドイチェ・アセット・マネジメント、フィデリティ・インベストメント・マネジメント、フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ、HSBC グローバル・アセット・マネジメント、インベスコ・アセット・マネジメント、インベステック・アセット・マネジメント、ジェーエフ・アセット・マネジメント、シュローダー・インベストメント・マネジメント、ソシエテ ジェネラル

2: ネット・ファンドフローは、2008年第4四半期における運用資産の増加額から市場の増加額を差し引いて求めました。

3: インベストメント・カンパニー・インスティテュートによると 2008 年第 3 四半期末現在の世界の運用資産総額は 21.66 兆米ドルです。

### 調査の詳細について

より詳しい情報については、2009 年 1 月から 2 月に実施した添付の「HSBC ファンドマネジャー調査：グローバル・マネーフロー追跡」をご参照ください。

### HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で 1 億の顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 86 の国と地域に 9,500 を超える拠点を擁し、2008 年 12 月末現在 2 兆 5,270 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

### 日本における香港上海銀行

HSBC グループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で 140 年以上営業を続けており、事実上、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京と大阪に支店を展開しています。法人向けの金融業務、プライベートバンク業務や HSBC プレミアなどの個人向け金融業務を提供しています。

### HSBC プレミア

HSBC グループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供しています。2000 年にサービスを開始し、2007 年 5 月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の 42 の国と地域で 300 以上の HSBC プレミアセンター（店舗）が設置されており、260 万人以上の顧客にサービスを提供しています。世界中どこにいても自国にいるような感覚で利用できる銀行サービスであり、日本では、お預り資産残高が 1,000 万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティーの高い個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供します。日本では、2008 年 1 月にサービスを開始しました。これまでに関東圏の赤坂、銀座、広尾、丸の内、横浜、池袋、神戸に HSBC プレミアセンターが開設されており、日本全国の HSBC プレミアセンターの支店網は 7 店舗です。

以上